議会かながわ

令和5年 第3回定例会
（9月7日から10月13日まで）

No.180 令和5年（2023年）11月20日（月）発行

県議会ホームページ　https://www.pref.kanagawa.jp/gikai/
神奈川県議会　検索

編集・発行・お問合せ　議会局政策調査課
〒231-8588　横浜市中区日本大通１
電話（045）210-1111（代表）（045）210-7564（直通）
FAX（045）210-8907

緑のハートのマーク は、県議会のマークです。緑は神奈川県の自然を表し、開かれたハートは、県議会の活動で県民の皆さまの心を一つにつなぎたいという、願いが込められています。

神奈川県議会フェイスブック公式アカウント
皆さまのフォローをお待ちしております！

「ビッグレスキューかながわ」に議長が参加

10月15日（日）に県と大井町の合同で、大正型関東地震の発生を想定して行われた「ビッグレスキューかながわ（令和5年度神奈川県・大井町合同総合防災訓練）」に加藤議長が参加しました。

この訓練は、関係機関等と連携した実践的な訓練を通じ、相互の連携強化を図るとともに、地域防災力の向上を図ること等を目的としています。消防、警察、自衛隊、在日米軍、日本赤十字社、米国赤十字社、神奈川DMAT、神奈川DMAT-L、医療関係機関などの参加・協力を得て、医療救護活動、情報収集伝達、中高層建物等からの被災者の救出救助などの訓練を実施しました。

加藤議長は、閉会式で「県議会といたしましても県当局とともに、市町村が取り組んでおられる災害に負けない街づくりに、最大限協力してまいります」とあいさつしました。

あいさつをする加藤議長

物価高騰対策などの補正予算等を可決

令和5年第3回神奈川県議会定例会は、9月7日から12月18日まで開会しています。
10月13日には、物価高騰への対策など、早急な対応を要するものについて、総額116億6,100余万円の9月補正予算を可決しました。
このほか、神奈川県県税条例の一部を改正する条例などを可決しました。

主な補正予算の内容

事業概要	予算額
農業者の肥料購入に対する補助 農業者の肥料購入費の負担増に対する補助への追加措置	5,429万円
畜産農家の飼料購入に対する補助 畜産農家の飼料購入費の負担増に対する補助への追加措置	7,614万円
「こどもまんなか社会」の機運醸成に向けた取り組み 県及び県内市町村のこどもまんなかの取り組みに係る公共交通機関のデジタル広告等による発信	2,988万円
特別支援学校における1人1台専用端末の整備 県立特別支援学校における、1人1台専用端末による学習環境の確立	2億776万円

事業概要	予算額
新型コロナウイルス感染症に対応する介護施設等に対する支援 新型コロナウイルス感染症の療養者が発生した際に必要な介護人材の確保や感染拡大防止対策等に対する補助への追加措置	56億3,417万円
地域医療介護総合確保基金積立金 新型コロナウイルス感染症に対応する介護施設等に対する支援の財源とするための基金への積立	56億3,417万円
高齢者施設における非常用自家発電設備の整備 災害時における高齢者施設の機能を維持するため、非常用自家発電設備の整備を行う事業者に対する補助	2,473万円

可決した主な条例案の概要

●神奈川県県税条例（改正）

地方税法の一部改正により、県が市町村から引継ぎを受けて徴収や滞納処分を行う対象に森林環境税が加えられたことから、同税に関する事務について県税事務所長へ委任することができるよう条例案を審議し、改正を行いました。

●地方税法第37条の2第1項第4号に掲げる寄附金を受け入れる特定非営利活動法人等を定める条例（改正）

個人県民税の税額控除の対象となる寄附金を受け入れる指定NPO法人の控除対象期間を更新するなどの条例案を審議し、改正を行いました。

主な活動〈第3回定例会（うち9月7日から10月13日まで）〉

本会議（9月7日～9月25日）
- 知事提案説明
- 代表質問（2面）
- 一般質問（3面）

▶ **常任委員会**（9月27日～10月6日）
- 議案等の審査

▶ **特別委員会**（10月3日）
- 調査

▶ **本会議**（10月5日、13日）
- 知事提案説明
- 議案等の採決（4面）

議会広報ミニアンケート
協力のお願い

議会かながわやテレビ放送など、県議会の広報に関するアンケートをインターネット上で行っていますので、ご協力をお願いします。お寄せいただいた回答は、今後の広報活動等の参考とさせていただきます。

アンケートはこちら

本会議、各委員会の模様は、インターネット中継でもご覧いただけます。　https://kanagawa-pref.stream.jfit.co.jp/

代表質問

9月12日(火)・13日(水)・14日(木)

会派名・選挙区は、質問時点のものです。
質問順は、左上から下に続きます。

紙面の都合上、質問・答弁の一部を掲載しています。詳しくは、11月下旬県議会ホームページ公開予定の神奈川県議会会議録(暫定版)をご覧ください。なお、正式版は2月中旬に発行予定です。

高橋(たかはし) 栄一郎(えいいちろう)

自民党
横浜市保土ケ谷区

児童相談所の第三者評価

問 「児童相談所の支援の質の向上に向け、第三者による業務に対する評価について、どのように取り組んでいくのか、知事の見解を伺う。

答 児童相談所への第三者評価の導入に向け、評価機関との調整を進めるとともに、評価の結果、指摘された改善点を、日々の支援に速やかに反映する仕組みについても、早急に検討を進めていく。こうした取り組みにより、児童相談所業務の質の向上を図ることで、かけがえのない子どものいのちを守っていく。

県立病院の医療提供体制

問 医療事故の事案を踏まえ、県民の信頼を取り戻し、県民が安心できる質の高い医療の提供に向け、県立病院機構の設置者である県として、今後、どのように取り組んでいくのか、知事の見解を伺う。

答 機構本部や病院に対して、改革の進捗状況を徹底的にチェックするとともに、機構の行動計画の内容を、令和7年度からの第四期中期目標に反映していく。県立病院が、安全で質の高い医療を提供し、患者や家族に寄り添った病院として、皆様から信頼を得られるよう、病院機構に対し、しっかりと指導・支援を行っていく。

森林環境譲与税の活用

問 森林環境譲与税の活用について、その課題をどのように認識し、今後、県としてどのように対応していこうと考えているのか、知事の見解を伺う。

答 各市町村の将来の活用計画を、とりまとめて公表し、取り組みの更なる「見える化」につなげていく。また、新たな測量技術の研修を実施するなど、市町村のニーズに応じた支援を進めながら、森林環境譲与税の有効活用に向けてしっかりと取り組んでいく。

このほか

税収見通しと今後の財政運営、神奈川県再犯防止推進計画、危機管理体制の強化、教職員の不祥事の根絶の取り組みなどについて質問しました。

中村(なかむら) 武人(たけと)

立憲民主党・かながわクラブ
横浜市神奈川区

障がい者の投票支援

問 障がい者の投票状況の把握をどう認識し、投票支援にどう取り組むのか、選挙管理委員会書記長の所見を伺う。

答 障がい者の投票状況の把握が可能か、できるだけ多くの障がい者団体にヒアリングを行い、障がいの種別ごとの状況を分析の上、市町村選挙管理委員会と共有する。障がい者の投票の障壁を把握し、解消に取り組むことで、更なる投票支援に努めていく。

特殊詐欺の現状と被害防止

問 特殊詐欺の被害状況等をどう分析し、今後、どのような対策に取り組んでいくのか、警察本部長の所見を伺う。

答 オレオレ詐欺と還付金詐欺が高止まりの状況で、架空料金請求詐欺などが増加傾向にある。実行犯だけでなく犯罪組織に対し、中枢人物の検挙や犯罪収益のはく奪等、打撃を与える対策を推進する。迷惑電話防止機能付き電話機や留守番電話の常時設定の普及促進、子や孫の世代への広報啓発活動の推進、高齢者への積極的な声掛け等の金融機関等との連携など、官民一体となった被害防止対策を継続的に推進する。

このほか

法定雇用率の引き上げに伴う障がい者の雇用促進、災害拠点病院等における浸水対策などについて質問しました。

脇(わき) 礼子(れいこ)

かながわ未来
藤沢市

「都道府県こども計画」の策定

問 こども基本法に基づき策定する「県こども計画」を、子どものニーズに合った実効性のある計画にするため、子どもや市町村の意見をどう聞き取っていこうと考えるのか、知事の所見を伺う。

答 県内全市町村に出向きヒアリングを行った。また、子どもの集まる場所に出向き、困りごとや要望を聞き取るアウトリーチの取り組みを進める。さらに、計画内容を審議する会議に、子どもにも参画してもらい、施策に反映させる。

警察職員の更なる障がいに対する理解の促進

問 警察職員に対し、障がい者への理解促進のため、どのような取り組みを行っているのか、また、今後どう取り組んでいくのか、警察本部長の所見を伺う。

答 採用時に県障がい者支援施設長による講義や施設での体験学習を行うほか、昇任時の教養や地域警察活動の専務教養、職員全体向けの職場教養等で理解を深めている。今後は、各職場でも部外有識者の知見を学ぶ機会を取り入れるなど、各種取り組みを推進する。

このほか

「生命(いのち)の安全教育」の更なる推進、災害廃棄物処理対策、カスタマーハラスメント対策、令和6年度当初予算編成などについて質問しました。

ともに生きる社会 かながわ憲章
～この悲しみを力に、ともに生きる社会を実現します～

県立津久井やまゆり園での
大変痛ましい事件を決して忘れず、
真の共生社会の実現に向け、
継続して取り組んでまいります。

憲章全文はこちら

市川(いちかわ) よし子(こ)

立憲民主党
川崎市幸区

放課後児童クラブの待機児童対策と利用料の支援

問 放課後児童クラブの待機児童対策と利用料の支援について、今後どう取り組むのか、知事の所見を伺う。

答 今後も利用ニーズの増加が見込まれることから、受け皿の増に向け、放課後児童クラブや放課後児童支援員の確保策を検討する。また、利用料については、一部の市町村での低所得世帯やひとり親世帯への独自の軽減措置の実施状況や効果について、ヒアリングを行い、支援の在り方を検討する。

これからの精神医療の在り方

問 精神科病院での虐待事件や精神保健福祉法の改正を踏まえ、現在の精神医療の在り方を見直し、より人権に配慮した適切な精神医療の提供について、検討すべきと考えるが、県としてどう取り組むのか、知事の所見を伺う。

答 患者目線での精神科病院の状況把握の有効な方法について、関係団体等と意見交換し、調査を行う。また、新たに専用の通報窓口を設け、通報や相談に迅速かつ的確に対応していく。

このほか

地域防災における高層マンション防災、県営水道事業における生活困窮者への対応、子ども・子育て支援の充実などについて質問しました。

佐々木(ささき) 正行(まさゆき)

公明党
相模原市中央区

防災DXの推進

問 防災DXの推進を図るべきと考えるが、どう取り組むのか、知事の所見を伺う。

答 県総合防災センターにVR体験プログラムを導入するほか、防災分野のデータ統合連携基盤を活用し、ハザードマップに土砂災害など危険度の高まりを示す情報を重ね合わせる仕組みを構築する。また、マイナンバーカードなどを避難対策に活かす実証事業に着手するとともに、マイ・タイムライン※1のアプリ開発を検討し、普及促進につなげる。

心不全パンデミック※2を防ぐ取り組み

問 心不全パンデミックに陥らないよう、どう取り組むのか、知事の所見を伺う。

答 東海大学付属病院の協力を得て、地域連携パスを含む医療連携体制を検討する。また、心臓リハビリテーション設備を整備する医療機関に対し、補助を行うほか、新たなリーフレットの作成やハイリスクな方への受診勧奨を行う。

このほか

富士山の噴火も視野に入れた災害時医療、介護ロボット普及促進、認知症施策の推進、県の孤独・孤立対策の取り組みなどについて質問しました。

松川(まつかわ) 正二郎(しょうじろう)

日本維新の会
川崎市中原区

子どもの「体験格差」是正に向けた取り組み

問 子ども食堂等の活動と連携し、体験格差の是正につながる取り組みを進めるべきと考えるが、知事の所見を伺う。

答 全ての子どもたちが、身近な場所で安価に体験活動ができるよう、子ども食堂や地域のスポーツクラブ等の団体と連携し、様々な体験や活動ができる子どもの居場所づくりを推進していく。

自衛隊との連携

問 災害への備えや自衛官募集への協力等の観点から、自衛隊との連携をより深める必要があるが、知事の所見を伺う。

答 自衛隊の退職幹部を受入れているほか、自衛隊が参加した訓練等を行っている。若者の認知度向上のため、自衛官募集ポスターの作成・掲示やSNSを活用した周知等効果的な広報に取り組んでいる。

このほか

私立高校における授業料への支援、県庁のデジタル専門人材、高齢者への就労支援、県立高校の地理総合の授業などについて質問しました。

武田(たけだ) 翔(しょう)

自民党
横浜市港北区

都市農業の推進

問 本県農業を取り巻く環境変化に対応して、都市農業の推進にどう取り組むのか、知事の見解を伺う。

答 若手農業者の新規就農時におけるトラクター等の導入費補助等により、新たな担い手確保に向け取り組みを強化する。また、スマート技術の導入支援により地域ぐるみでの生産性の向上を図るとともに、太陽光発電等を利用したビニールハウス暖房装置の導入による化石燃料に依存しない持続的脱炭素農業モデルを普及させていく。

戦没者追悼の次世代継承

問 次の世代を担う若者たちが、過去の戦争の実態に触れ、戦没者に対する追悼と戦争の記憶の継承に関心を持つことができるようどう取り組むのか、知事の見解を伺う。

答 県戦没者追悼式の運営に携わってもらうため、式典参加への呼び掛けを強化するほか、南方諸地域戦没者追悼式では、県内で作られた折り鶴を捧げるなど、広く県民が参加できるよう取り組む。

このほか

今後の観光の核づくり事業、海洋ツーリズムの今後の展開、危険ながけ地からの移転促進、ストーカー事案への対応などについて質問しました。

用語解説は、4面に掲載しています。

一般質問

9月19日（火）・20日（水）・22日（金）・25日（月）

会派名・選挙区は、質問時点のものです。
質問順は左上から下に続きます。

紙面の都合上、質問・答弁の一部を掲載しています。詳しくは、11月下旬に県議会ホームページで公開予定の神奈川県議会会議録（暫定版）をご覧ください。なお、正式版は2月中旬に発行予定です。

ます 晴太郎（せいたろう） 自民党 茅ヶ崎市

県内畜産業の支援

問 本県の畜産業をどう支援するのか、知事の見解を伺う。

答 飼料価格高騰による負担軽減のため、補正予算で輸入乾牧草の購入経費等の支援を実施しつつ、エコフィード※3の活用、飼料用米等の国産飼料への転換促進に取り組む。農家と事業者間のエコフィードのマッチングプラットフォーム※4を11月に本格稼働させるほか、飼料用米を積極的に周知し、休耕田を活用した作付面積の倍増を目指す。

このほか 保育士確保対策の更なる充実、動物愛護センターにおける収容状況の改善、海のドローンの活用などについて質問しました。

難波 達哉（なんば たつや） 自民党 厚木市・愛川町・清川村

市町村の広域連携に対する県の支援

問 市町村が更なる広域的な連携を進めようとしている中、どのように支援していくのか、知事の見解を伺う。

答 県は、市町村の広域連携に関する法的解釈についての助言・指導や市町村間の利害関係が生じた際の調整を行う。また、広域連携を行う市町村等に対し、補助金の補助率や補助額を通常よりも引き上げるとともに、貸付金も低金利とするなど、広域連携実現に向けた後押しをする。

このほか 丹沢大山エリアの観光振興、宮ヶ瀬湖の湖面利用、県央やまなみ地域における鳥獣被害対策の広域連携などについて質問しました。

楠 梨恵子（くすのき りえこ） 自民党 横浜市栄区

ライフステージに応じた女性の健康づくりへの支援

問 女性ホルモンのバランスを含む健康づくりへの支援について、どう取り組んでいくのか、知事の見解を伺う。

答 「未病女子navi」※9をリニューアルし、新たな動画を作成するほか、未病センターの相談で女性ホルモンの課題に対応できるよう調整する。市町村等と連携し、女性の健康づくりに繋がるプログラムの充実を図るとともに、「かながわ健康プラン21」に女性の健康を位置付ける。

このほか 園芸博覧会に向けた花育推進、網膜色素変性症対策、かながわPayによるキャッシュレス普及促進などについて質問しました。

森田 学（もりた まなぶ） 立憲民主党・かながわクラブ 横浜市戸塚区

病院の耐震対策

問 県内の現状を踏まえ、県民の安全・安心を高める観点から、県は積極的に病院の耐震化に取り組む必要があると思うが、今後、どう進めていくのか、知事の所見を伺う。

答 耐震化が完全に完了していない病院に対し、国庫補助を活用した耐震化工事の支援について、県病院協会と連携して改めて周知し、活用を呼び掛ける。必要に応じて県も個別に病院に連絡し、具体的な相談に応じていく。

このほか 子ども・子育て基金の活用、ゼロゼロ融資、県立学校における教育環境の整備、不法投棄対策などについて質問しました。

米村 和彦（よねむら かずひこ） 立憲民主党・かながわクラブ 平塚市

動物愛護センターにおける保護動物の譲渡の推進

問 県内在住者に限定している動物愛護センターの保護動物の譲渡先の見直しが必要と考えるが、知事の所見を伺う。

答 今後はより多くの保護動物に飼い主が見つかるよう、飼い主の居住地の条件を緩和し、申込手続や譲渡後の飼育状況の確認方法など、県外の方が利用するために必要なルールを整備する。保護動物の譲渡を着実に進め、「ペットのいのちも輝くかながわ」の実現を目指す。

このほか スクールソーシャルワーカーの資質向上、福祉車両の自動車税の減免対象などについて質問しました。

細谷 政幸（ほそや まさゆき） 自民党 相模原市南区

元相模原青陵高校の利活用

問 元相模原青陵高校跡地について今後どう利活用していくのか、総務局長の見解を伺う。

答 元相模原青陵高校を含む「麻溝台・新磯野地区」は、相模原市が土地区画整理事業によるまちづくりを予定しており、県は民間売却を検討している。まちづくりが円滑に進むような売却先の選定手法等について市と意見交換、検討するとともに、老朽化した校舎等の除却を進める。

このほか 県民協働の森林づくり、ＪＲ相模線の輸送力改善、融資の返済が困難な中小企業への支援などについて質問しました。

佐藤 けいすけ（さとう） かながわ未来 厚木市・愛川町・清川村

流域治水に対する県民意識の向上

問 今後、流域治水に対する県民意識の向上に、どう取り組んでいくのか、知事の所見を伺う。

答 施設見学会と併せた流域治水の考え方を説明するイベント「流域治水かながわ」の開催や取り組みのホームページでの公表に加え、市町の防災講座で水害の歴史や治水上の課題を学ぶ機会をつくるなど、自分事化を促す。また、防災教育教材を活用し、若い世代の意識向上を図る。

このほか 睡眠を通じた健康づくり推進、鳥インフルエンザ対策、外国につながりのある児童・生徒への指導・支援などについて質問しました。

大村 悠（おおむら ゆう） 自民党 横浜市金沢区

プロスポーツチーム等と連携したスポーツ施策推進

問 自治体や企業、スポーツ関係団体などが情報や意見を交換するプラットフォーム等を活用しながら、今後、どのようにプロスポーツチーム等と連携したスポーツ施策を推進していくのか、知事の見解を伺う。

答 プラットフォームでテーマを募集し、分科会等を設けて意見交換を行い、事業化につなげる。プラットフォームを活用し、プロスポーツチーム等と相互連携を図る。

このほか 周遊観光の促進、キャリア教育（県立高校生学習活動コンソーシアム※6）、障がい者の社会参加促進などについて質問しました。

高橋 延幸（たかはし のぶゆき） 自民党 南足柄市・足柄下

真鶴町への支援

問 過疎化が進む真鶴町をどう支援していくのか、また、真鶴港の管理をどう考えるのか、知事の見解を伺う。

答 町の執行体制安定のため、過疎対策にとどまらず、専門性の高い事務への助言や人的支援を含め、支援の継続を検討する。真鶴港の県の直接管理は一時的なものであり、本来は町管理が望ましいと考える。管理を任せられると判断できれば、指定管理者の選定手続きを再開したい。

このほか ふるさと納税の返礼品充実とＤＸ化推進、民泊施設の適切な運営を促す取り組み、早川の河川整備などについて質問しました。

野内 みつえ（のうち） 立憲民主党 大和市

大和市内の県道丸子中山茅ケ崎整備と交差点の安全対策

問 大和市内の渋滞緩和や児童等の安全安心の確保に向け、県道丸子中山茅ケ崎の整備と、交差点の安全対策に、今後、どう取り組むのか、県土整備局長の見解を伺う。

答 今年度は、埋蔵文化財調査に時間を要していた横浜市境付近において、年度末を目標に歩道の工事を行う。交差点の安全対策として、車止めの設置要望があった交差点について、地元の警察署と調整し、順次、設置を行う。

このほか 要配慮者の視点を踏まえた災害対策、子どもの自殺対策、高齢のおひとりさま※5支援などについて質問しました。

あらい 絹世（きぬよ） 自民党 横浜市磯子区

がん患者の経済的な相談支援

問 がん患者や家族の不安を軽減するため、家計など個別の経済的な悩みの相談に対応できる体制整備が必要と考えるが、どう取り組むのか、知事の見解を伺う。

答 患者や家族の希望に応じて、経済的な悩みに対応できるよう、ファイナンシャルプランナー等の専門家による個別相談について、医療機関や患者団体の意見を聞き検討を進め、がん相談支援センターの相談体制の充実を図る。

このほか 定期購入の契約トラブルへの対応、中小企業のビジネスケアラー支援、ひきこもり支援などについて質問しました。

山本 哲（やまもと てつ） 自民党 寒川町

小出川の遊水地整備

問 小出川の遊水地整備について、これまでどう取り組み、今後どう取り組むのか、県土整備局長の見解を伺う。

答 事業に必要な用地の約8割の取得が完了し、残り2割も引き続き取り組む。また、周辺地域の地下水への影響を監視しながら、地盤を掘り下げる工事を進める。さらに、遊水地を囲む堤防の築造工事や、貯留した水を排水する施設等の工事を進め、令和12年度の完成を目指す。

このほか 災害時のトイレ確保対策、寒川浄水場のこれまでと今後、市町村立小・中学校での外国語教育の充実などについて質問しました。

藤井 深介（ふじい しんすけ） 公明党 平塚市

ＳＤＧｓの今後の取り組みについて

問 中小企業のSDGsの取り組みを、今後どう支援していこうと考えているのか、知事の所見を伺う。

答 今後、SDGsパートナー同士の連携の促進に向けたミーティングの活用に加え、中小企業の企業価値を熟知し、日常的な取引で密接な関係を有する地域金融機関と連携して、中小企業に対する支援を強化し、民間におけるSDGsの実現に向けた動きを加速させていく。

このほか 視覚障がい者等に対する情報提供、大雨に対する道路の防災対策、改造車両による騒音対策などについて質問しました。

田中 信次（たなか しんじ） 自民党 横浜市泉区

国際園芸博覧会※7への対応

問 2027年国際園芸博覧会は、本県の都市農業をPRするうえで絶好の機会と考えるが、県としてどのように対応していくのか、知事の見解を伺う。

答 今後、オール神奈川で博覧会を盛り上げ、成功に導くため、県は博覧会協会と連携して県内市町村に参加を呼び掛けていく。また、開催地の県として、この博覧会に自ら出展していくことについて、検討していく。

このほか 若年性認知症のピアサポート※8支援、高等教育の修学支援新制度、私立幼稚園の教育環境充実支援などについて質問しました。

木佐木 忠晶（きさき ただまさ） 共産党 横浜市鶴見区

不妊治療に対する県の支援

問 不妊治療に対する経済的支援を行うべきと考えるが、知事に意気込みを伺う。治療のための休暇制度など安心して臨める支援が必要だと考えるが、知事の所見を伺う。

答 不妊治療費や経済的・精神的な負担感などを調査し、今後、結果を分析し、有効的な支援を検討する。職場環境整備については、経済団体等を通じ企業へ要請したほか、不妊治療への理解を深めるよう周知する。

このほか 奨学金返済支援、通学費支援、重度障害者医療費助成の拡充、補助犬への医療費助成などについて質問しました。

日浦 和明（ひうら かずあき） 日本維新の会 川崎市高津区

災害に備えた物資の備蓄

問 災害時の備えとして、県は、県民の自助の意識の向上に努め、県民自らが必要物資の備蓄を行うよう普及啓発が必要と考えるが、どう取り組むのか、知事の所見を伺う。

答 来年度までの2か年で地震被害想定の見直しを進める中で、災害発生後の時間経過でどのような物資が不足するかや、自助による備えとして何が重要かなど様々な視点から検討し、その結果を次期地震防災戦略に反映させる。

このほか ふるさと納税、浄水場の火山対策、電動キックボード等の交通安全対策、県立高校の労働に関する教育などについて質問しました。

市川 和広（いちかわ かずひろ） 自民党 藤沢市

湘南東部における重症心身障がい者の支援の充実

問 湘南東部障がい保健福祉圏域における重症心身障がい者の支援の充実に向けた対応について、知事の見解を伺う。

答 グループホームの設置補助などの地域資源の充実や小児医療機関等に短期入院で受け入れるメディカルショートステイ事業の実施の働き掛けを行う。また、当該圏域の重症心身障がい者への必要な支援体制について、本人、家族や関係市町村、事業者、医療関係団体等と検討する。

このほか 手話言語の推進、ワインを通じた観光振興、慢性腎臓病対策、脱炭素の自分事化に向けた取り組みなどについて質問しました。

北井 宏昭（きたい ひろあき） わが町 横浜市戸塚区

道路へのベンチの設置推進

問 高齢者や障がい者など誰もが外出しやすく、つながり合う地域づくりのために、道路へのベンチ設置を推進すべきと考えるが、どう取り組むのか、知事の所見を伺う。

答 現在、幅の広い歩道を有する道路へのベンチ設置を「みんなのバリアフリー街づくり条例」のガイドラインの「望ましい水準」に位置付ける改訂作業を進めている。道路管理者へ丁寧に説明し、ベンチ設置を後押しする。

このほか マルトリートメント※10や虐待への対応、福祉施設従事者の配置基準と処遇の改善、学校との連携強化などについて質問しました。

議案と各会派の賛否

第3回定例会

(会派名:左から 自民党、立憲民主党・かながわクラブ、かながわ未来、立憲民主党、公明党、日本維新の会、共産党、わが町、港南の会、県政会、創和会、神奈川ネット)

○は賛成
×は反対

議案の分類	議案名	審議結果	自民	立民	未来	立憲	公明	維新	共産	わ町	港南	県政	創和	神ネ	備考
令和5年度補正予算(1件)	一般会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等2名
条例の一部改正(7件)	地方税法第37条の2第1項第4号に掲げる寄附金を受け入れる特定非営利活動法人等を定める条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等2名
	神奈川県政功労者に関する条例														
	神奈川県県税条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	欠席者等2名
	神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等2名
	旅館業法施行条例														
	神奈川県海水浴場等に関する条例														
	神奈川県ふぐ取扱い及び販売条例														
契約(2件)	工事請負契約の締結(県立図書館収蔵館(旧新館)改修工事(空調)請負契約)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等2名
	工事委託契約の締結(川崎県税事務所(仮称)整備事業委託契約)														
その他(8件)	指定管理者の指定(由比ガ浜地下駐車場)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等2名
	指定管理者の指定(片瀬海岸地下駐車場)														
	指定管理者の指定(大磯港)														
	和解(退職予定の県警察職員に対する求人票に係る情報公開非公開処分取消等請求事件)														
	和解(川崎市川崎区水江町6番1号先道路上において発生した交通事故に伴う損害賠償請求事件)														
	和解(警察署が保護した泥酔者が後に脳出血により死亡した事案に伴う損害賠償請求事件)														
	仲裁(県立図書館新棟新築工事(建築)請負契約に関する紛争)														
	損害賠償請求訴訟の判決に対する控訴	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名
人事(2件)	教育委員会委員の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等2名
	公安委員会委員の任命														

可決された意見書等

可決された意見書【4件】

- 緊急防災・減災事業債の期間延長及び一層の強化を求める意見書
- 軽油引取税の免除措置の継続・恒久化を求める意見書
- 保育士の配置基準の改善等を求める意見書
- 森林環境譲与税の譲与基準見直しの慎重な検討を求める意見書

採択された請願【3件】

- 私学助成等について請願
- 軽油引取税の課税免税措置の継続・恒久化に関する国への意見書の提出を求める請願
- 漁業用軽油の軽油引取税の免税措置の継続・恒久化に関する国への意見書の提出を求める請願

可決された意見書の全文は県議会ホームページに掲載しています。
https://www.pref.kanagawa.jp/gikai/p80118.html

神奈川県議会 意見書 検索

決算特別委員会

決算特別委員会は、決算認定議案が提出された際に設置され、一般会計、特別会計、公営企業会計の決算を審査します。今定例会では、10月11日から11月2日までの間、延べ9日間にわたり令和4年度決算について審査等を行っています。
※委員会の構成は、令和5年9月25日現在のものです。

委員長		田中 徳一郎(自民党)
副委員長		谷口 かずふみ(公明党) 川崎 修平(自民党)
委員	自民党	田中 洋次郎 難波 達哉 永田 てるじ 山口 美津夫 芥川 薫 市川 和広 綱嶋 洋一 高橋 延幸 高橋 栄一郎 あらい 絹世 河本 文雄 嶋村 ただし 杉山 信雄 杉本 透 持田 文男
	立憲民主党・かながわクラブ	望月 聖子 市川 さとし 米村 和彦 青山 圭一
	かながわ未来	石川 裕憲 岸部 都 近藤 大輔
	立憲民主党	平野 みぎわ すとう 天信 古賀 照基
	公明党	おだ 幸子 小野寺 慎一郎
	日本維新の会	阿部 将太郎 さとう 知一
	共産党	井坂 新哉
	わが町	北井 宏昭
	県政会	松長 泰幸

令和5年第3回定例会・会議等の予定

第3回定例会は9月7日から開会しています。
発行日以降の日程を掲載します。

11月24日(金)	議会運営委員会・本会議(知事提案説明)・議案説明会
29日(水)	本会議(代表質問)
30日(木)	本会議(代表質問)
12月1日(金)	本会議(代表質問)
5日(火)	本会議(一般質問)
6日(水)	議会運営委員会・本会議(一般質問、付託)
8日(金)	常任委員会(総務政策、防災警察、国際文化観光・スポーツ、環境農政)
11日(月)	常任委員会(厚生、産業労働、建設・企業、文教)
12日(火)	特別委員会(共生社会推進、安全安心なまちづくり、社会問題・健康医療対策)
13日(水)	常任委員会(全委員会)
15日(金)	議会運営委員会
18日(月)	議会運営委員会・本会議(採決)

※ 議会の日程は、変更される場合があります。
※ 最新の日程は、県議会ホームページでご覧いただくか、議会局までお問い合わせください。

インターネット中継のご案内

代表質問、一般質問の模様は、インターネット中継でもご覧いただけます。

神奈川県議会 ネット中継 検索

用語解説

2面 3面

※1 マイ・タイムライン
大雨により河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を、時系列的に整理した住民一人ひとりの防災行動計画のこと。

※2 心不全パンデミック
心不全患者が激増すること。

※3 エコフィード
食品残さ等を利用して製造された飼料のこと。

※4 マッチングプラットフォーム
ものやサービスの提供者と利用者をつなぐ仕組みのこと。

※5 高齢のおひとりさま
高齢期から死後にかけて助けてくれる人がいないリスクが高い人のこと。

※6 コンソーシアム
共通の目的を持つ複数の組織が協力するために結成する共同体のこと。

※7 国際園芸博覧会
国際的な園芸文化の普及や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決等への貢献を目的に、国際園芸家協会の承認に加え、国際博覧会に関する条約に基づく博覧会国際事務局の認定を受けて開催される国際的な博覧会のこと。2027年に横浜市の旧上瀬谷通信施設(米軍施設跡地)で開催される。

※8 ピアサポート
「ピア」は英語のpeerで、仲間、対等、同輩を意味し、「サポート」は英語のsupportで援助を意味する。同じような立場や課題に直面する人がお互いに支え合うこと。

※9 未病女子navi
県が女性の健康・未病の知識普及を目的に情報を提供しているサイトのこと。

※10 マルトリートメント
虐待とは言い切れない、大人から子どもに対する避けたい関わりであり、子どもの心や体が傷つく行為、子どもを危険にさらす行為すべてのこと。

開かれた議会づくりのための広報委員会

広報委員会

議会広報の基本方針等について協議しています。

委員長
議長 加藤 元弥(自民)

副委員長
副議長 亀井 たかつぐ(公明)

委員
柳下 剛(自民) 斉藤 たかみ(立民)
近藤 大輔(未来) 赤野 たかし(立憲)
谷口 かずふみ(公明) さとう 知一(維新)

開かれた議会づくり検討小委員会

県民の皆さまに議会に関心を持っていただけるような広報のあり方や、議会かながわの編集、議会ポスターの作成などについて協議を行っています。

議会かながわ等へのご意見をお待ちしています!

川本 学議員 ご逝去

令和5年10月14日 自民党 川本 学議員(51歳 川崎市中原区選出)が逝去されました
ここに哀悼の意を表し謹んでご冥福をお祈りいたします